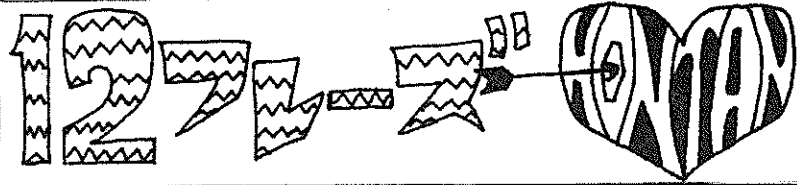


# HONMAN

図書館ボランティア「本探」が 第6号  
 旬の図書館情報をお知らせします 2010年  
 3月号

春うららな  
 情報がいっぱい

今回の12フレーズは、「これ  
 が修羅場だ!! 衝撃のワン  
 フレーズ」です。修羅場という  
 ドドロロがなっと思いましたが、色々  
 な修羅場が集まりました。

☆舞☆和田竜 913.6/W  
 『小太郎の左腕』  
 「人に秀でたはこの時なのさ」  
 敵の戦略によって修羅場に  
 立たされた半右衛門の放つ一言。

☆職員B子☆三島由起夫  
 『愛の湯き』 918.68/M-2  
 「癖になった流産みたいに癖に  
 なった失恋といふものがあるんだよ」  
 修羅になった女は怒い。

☆とおか☆豊島ミホ  
 『リリイの籠』 913.6/T  
 「そんな執着してよ」  
 人と向き合うことは、想像  
 より難しい。

☆なのか☆榊庭一樹  
 『少女七竈と七人の可愛そう  
 な大人』 913.6/S  
 「左手だった。きらりとキラキラ  
 の指輪が見えた。」  
 愛や恋は必要でしょうか?

☆花漣☆伊坂幸太郎 913.6/I  
 『ゴルドンスランバー』  
 「とにかく生きて逃げろ」  
 首相暗殺を疑われた男の  
 運命とは。

☆漁火☆飯田護治・梓河人  
 『アサザハヴン』 913.6/I  
 「この現実を変えてくれー  
 ー。」  
 犯人に追い詰められた  
 主人公(刑事)の焦りと不安。

☆N川☆島尾敏雄  
 『死の棘』 918.6/S-36  
 「妻は必ず、とどめ刺し、半殺し  
 にはしないだろう。」  
 自分の浮気で発狂した妻を思ふ夫の告白

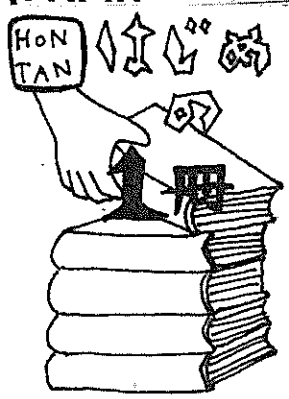
☆卯月☆山田詠美 913.6/Y  
 『ぼくは勉強ができない』  
 「解りません。」  
 高圧的な教師の言動に対して  
 主人公が小さく呟いた一言。

☆きゆう☆嶽本野ばら  
 『ハピネス』 913.6/T  
 「私ね、後、一週間が  
 死んじやうの」  
 僕と彼女の最期の日は判決の言葉

☆Ame☆恩田陸  
 『猫と針』 912.6/I  
 「これが今の私の限界」  
 初の戯曲に悩まされた作者の  
 一言。裏服袴の男と5人の秘蔵は、

☆ななちゃん☆伊藤たかみ  
 『八月の路上に捨てる』 913.6/I  
 「私だけどうして夢を追っかけ  
 ちゃいけないの」  
 妻から夫へ。現実でもあり得る場面

☆ちゆん☆ミヒヤイル・エンデ  
 『モモ』 913/E  
 「おまえがいつだって  
 くれるかね。」  
 モモが灰色の男たちのアジトに潜り  
 こみ、時間の花を取り戻していく場面!!



東野圭吾を読みはじめたら → 東野圭吾  
 『新参者』加賀シリーズ8  
 『新参者』。刑事・加賀恭一郎のシリーズ8冊目であり、最新作です。  
 難しさやくせがなく、ジャンルはミステリーですがそれだけでは終わらない  
 作品です。読むうち、主人公・加賀のあとを追わずにはいられなくなります。  
 「刑事の仕事はそれだけじゃない。事件によって心が傷つけられた人  
 がいるのなら、その人だって被害者だ。」このセリフに加賀のあり方が  
 表されているように感じます。  
 またシリーズ一冊一冊が違う色とジャンルを持っていて、読み終えた  
 ときに、わだかまりが残るようなこともありません。  
 東野圭吾さんは今更紹介するまでもない作家さんですが、まだ  
 読み始めていない人に向けて、『最初の一冊』としておすすめします。  
 この本にはまれば、きっとシリーズ全てが楽しめます。

『新参者』  
 講談社、2009.9 913.6/H

<ななちゃん>

# パンギンのひとりごと

館長さん情報

パンギンのひとりごと 最終回! 館長さんから学生へアドバイス → 若いうちに本を読むことで、きちんと自分でイメージし理解する力を養って下さい。そしてぜひ早く良い本に出会って下さい  
ばんばい先生一年間ありがとうございました。

## Pick-up MAGAZINES

HONTAN 雑誌の書評を 紹介

尾スズキ『老人賭博』をとりあげたのはロッキングオンジャパン3月号の「TIMES REVIEW」名ゼリフもクライマックスも存在しない日常生活をヴィヴッドな笑いに変えて、新学期への憂鬱が吹き飛ばすなら読まない手はないかも(ばば)『老人賭博』松尾スズキ著

## ロッキングオンジャパン 3月号(第24巻第3号)

ちよといわくつきの小説? 表紙からのインパクトも大きいこの作品。松

## 今月の1冊

夏川草介著 「神様のカルテ」 913.6/M (3月までに入荷)

地域医療に従事する栗原先生の周りで起こる出来事が3章にわたって描かれた作品です。しかし、過酷な医療の現場を描いたもの、というよりも、栗原先生の周りにいる人々の関係や日常、出会いと別れにスポットが当てられています。栗原先生の可愛い奥さん、ハル。同僚の砂山次郎、次郎の片思い相手の看護師、水無さん。栗原先生の住む「御嶽荘」の住人、男爵に学士殿。そして、入院患者の安曇さん。個性的な人物たちに加え、主人公の栗原先生も、夏目漱石を敬愛し、古風なしゃべり方をするちよっと変な人。彼らの物語はとても温かく、優しく、そして少し切ない。

HONTAN 展示で みつけて

3月という別れの多い季節。この小説を読んだ時、あなたが、思い浮かべるのは誰の顔でしょう……?



2009年1月～2010年2/12まで 貸し出し回数が多い本を1年間という期間で抽出しました。貸し出しの多い作品必ず紹介です。

順位	書名	著者
1	ロスト・ボーイズ: J.M.バリヒピターパン 誕生の物語	アンドリュー・バーキン 鈴木重敏
2	ガリレオの苦悩	東野圭吾
3	食堂かたつむり	小川糸
4	聖女の救済	東野圭吾
5	沈まぬ太陽 1~5	山崎豊子

今回1位だったロスト・ボーイズは134回貸りられていました。

# 漁火の本探力

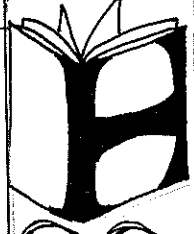
NO.3 千歳

連載コラム最終回は「千歳」をテーマに据えて参ります。空港・支笏湖・インディアン水車ほど有名な千歳、この都市を読み解くにあたりオススメなのは「新時代人:北海道空港25年史」や「千歳市史増補」といった本たち。千歳の新たな側面を発見できるでしょう。現在は永濤(ひょうとう)まつりも開催されている千歳市、この冬ぜひ訪れてみてはいかがでしょう?  
「新時代人:~」687.9/H(開架)  
「千歳市~」211.5/C <漁火>

## DVD 展示 紹介

「今回は①世界遺産が舞台になった作品

②ハリウッドもある映画の名地カリフォルニアが舞台になった映画特集 ③展示担当者2名のおすすめ作品の3つのテーマでDVDを展示しました。世界遺産特集ではそれぞれの遺産の写真とちよとした解説も置いています。実際のロケ地を知って、より深く作品を味わってみて下さい。  
<N川・ちゅん>



福集 後記

今回は休み中だったこともあり、なかなか記事を書き進めるのが大変でした。4月から、また気持ちを改め

てニュース共々、HONTANの活動をしていきます。 <卯月>